

京都府総合計画

南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ
広域連携プロジェクト



京都府 総合政策環境部
地域政策室

令和6（2024）年3月



南丹地域の概要(亀岡市・南丹市・京丹波町)

■主な地域特性

- 京都府域の中央に位置し、府中部と京阪神地域を結ぶ交通の要衝
- 大都市に近接していながら豊かな森や田園風景に恵まれた自然環境
- 京都スタジアムなどの交流拠点が整備
- 京のブランド産品など特色ある農産物や畜産物、木材の高いシェアを誇る地域など

人口	R5.3人口 (府内順位) (H25.3比較)	面積km ² (府内順位)	人口密度 (人/km ²) (府内順位)
京都府	2,541,551 ▲82,742人 (▲3.2%)	4,612.2	551.0
亀岡市	85,226 (3) ▲6,049人 (▲6.6%)	224.8 (8)	379.1 (13)
南丹市	30,811 (14) ▲3,590人 (▲10.4%)	616.4 (2)	50.0 (22)
京丹波町	12,142 (20) ▲3,127人 (▲20.5%)	303.1 (7)	40.1 (24)
京都市	1,443,607(1) ▲30,006人 (▲2.0%)	827.8 (1)	1,743.8 (7)



アクセス



- 亀岡市余部地区 ● までの時間
- (車) JR大阪駅から約1時間
JR大阪駅付近 → 吹田JCT → 大山崎JCT → 亀岡IC
 - (車) JR京都駅から約45分
京都駅 → 沓掛IC ; 京都縦貫自動車道 → 亀岡IC
 - 【電車】 JR大阪駅から亀岡駅まで約1時間
 - 【電車】 JR京都駅から亀岡駅まで約20分

- 南丹市園部IC付近 ★ までの時間
- (車) 亀岡ICから約10分
 - 【電車】 JR亀岡駅から約15分

JR京都駅

JR大阪駅



「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト」

前 京都府総合計画 R1(2019).12
エリア構想

「京都スタジアムを中核とする
スポーツ&ウェルネス構想」

京都府総合計画 R4(2022).12
広域連携プロジェクト

「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ
広域連携プロジェクト」

「京都スタジアム」の完成を契機に、大学
や京都トレーニングセンター、府内スポー
ツ施設の連携を進め、丹波高原や桂川・
由良川もフィールドとして活用しながら、内
外から人が集まる日本有数のスポーツ・健
康エリアとして、食やスポーツ科学と連携
した地域づくりを進める。

- ◆ 府立京都スタジアムや京都トレーニングセンター等との連携を進め、地域の豊かな自然も生かした日本有数のスポーツ健康エリアとしての基盤を生かし、地域の各大学とも協働した**スポーツ&ウェルネスの産学公実証を核にした地域づくり**を進める
- ◆ **産業拠点や大学が地域に集積するとともに、自然や食も豊富である地域が隣接することを生かし、双方の良さを取り込んだ生活ができる地域の実現を目指す**

【主要な取組】

- トップアスリートの育成とスポーツのメッカづくり
- スポーツ、食や癒しによる健康づくりの先進モデル地域づくり

＜主要な方策＞

- スポーツ、食や癒やしによる健康長寿づくりの先進モデル地域づくり
- 産学公連携によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けた実証と人材育成
- **スポーツ&ウェルネス、フードテック産業などクロス産業集積エリアの創出**
- **都市生活と田園生活がそれぞれ味わえる生活圏の創造**

南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクトにおける 産業創造リーディングゾーン「ヘルス・スポーツ産業」の形成

産業創造リーディングゾーン「ヘルス・スポーツ産業」の目指すところ

地域が持つ資源などを活かしながら、民間企業や大学等との連携のもと、国内外から注目されるスポーツやウェルネス（心と体の健康）の分野に関するテーマを掲げ、そのテーマに取り組む研究ラボや多様な企業施設の集積（立地・誘致）及びワーケーション・スポーツツーリズムを活かした新ビジネス等の創出を推進。

【事業の概要】

① スポーツ、食や癒やしによる健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

府立スタジアムや京都トレセンなどのスポーツ拠点や大学と連携し、食や自然などの南丹地域の地域資源を活かした、ウェルネスモデル事業の創出

② スポーツ&ウェルネス、フードテック産業などクロス産業集積エリアの創出

スポーツや『食』に関係する企業との連携協定等を起点として、南丹地域における企業誘致に加え、スポーツツーリズムの活性化や企業のワーケーション利用促進などの地域振興策を創出

『食』：農林漁業者（生産）から加工、流通、販売までの様々な事業者が対象

③ 産学公連携によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けた実証と人材育成

検討体制

対象エリア：南丹地域

関係者：スポーツ健康科学・ウェルネス分野の大学（京都先端科学大学、明治国際医療大学、立命館大学など）、合同会社ビバ&サンガ、京都トレーニングセンター、スポーツ・健康関連事業者、食関連産業事業者、地元市町 等



【地域のポテンシャルを活かした取組】

南丹地域内のスポーツ拠点（京都トレセン・府立スタジアム）、大学（京都先端科学、明治国際医療）、市町等の関係者で構成する『南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ 地域プラットフォーム会議』を通じて、南丹地域内での地域スポーツ・アスリート支援やスポーツコミッション、健康づくり等の取組を実施

産業創造リーディングゾーン ～未来を拓く京都産業の実現～

世界に挑戦する京都の
オープンイノベーション

環日本海物流促進

先端技術を取り入れた物流の実証と研究により、京都の産業や地域を支える強靱かつ持続可能な物流システムを形成

ヘルス・スポーツ産業

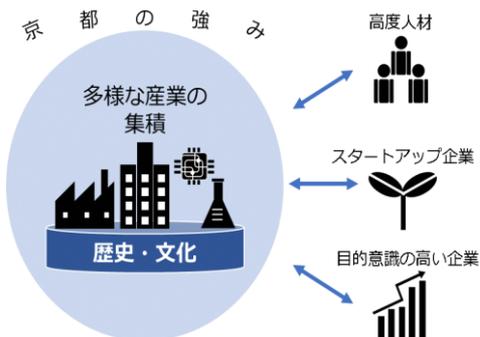
スポーツ&ウェルネス（心と体の健康）、フードテック産業等をテーマに新産業創造に向け、産学公連携による多様な産業の集積を推進

アート&テクノロジー

京都の文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材を育成

産業創造リーディングゾーンとは

地域が持つ資源など、そこにしかない強みを生かしながら、国内外から注目されるテーマを掲げ、イノベーションに取り組む企業の集積を図り、次代の産業を創出する拠点づくりを目指すものであり、その効果を府内全域に波及させていくことで均衡ある発展を推進。



フードテック産業

世界的な課題である人口増加に伴う「食」の量と質の確保などの解決に取り組む国内外の研究機関やスタートアップ企業等の集積を促進

シルクテキスタイル産業

世界最高レベルのシルクと染めと織りの技術を活用したテキスタイル産地を形成

脱炭素産業

電池・バイオ等のテクノロジーの集積を生かした脱炭素関連企業の共創の場を創設

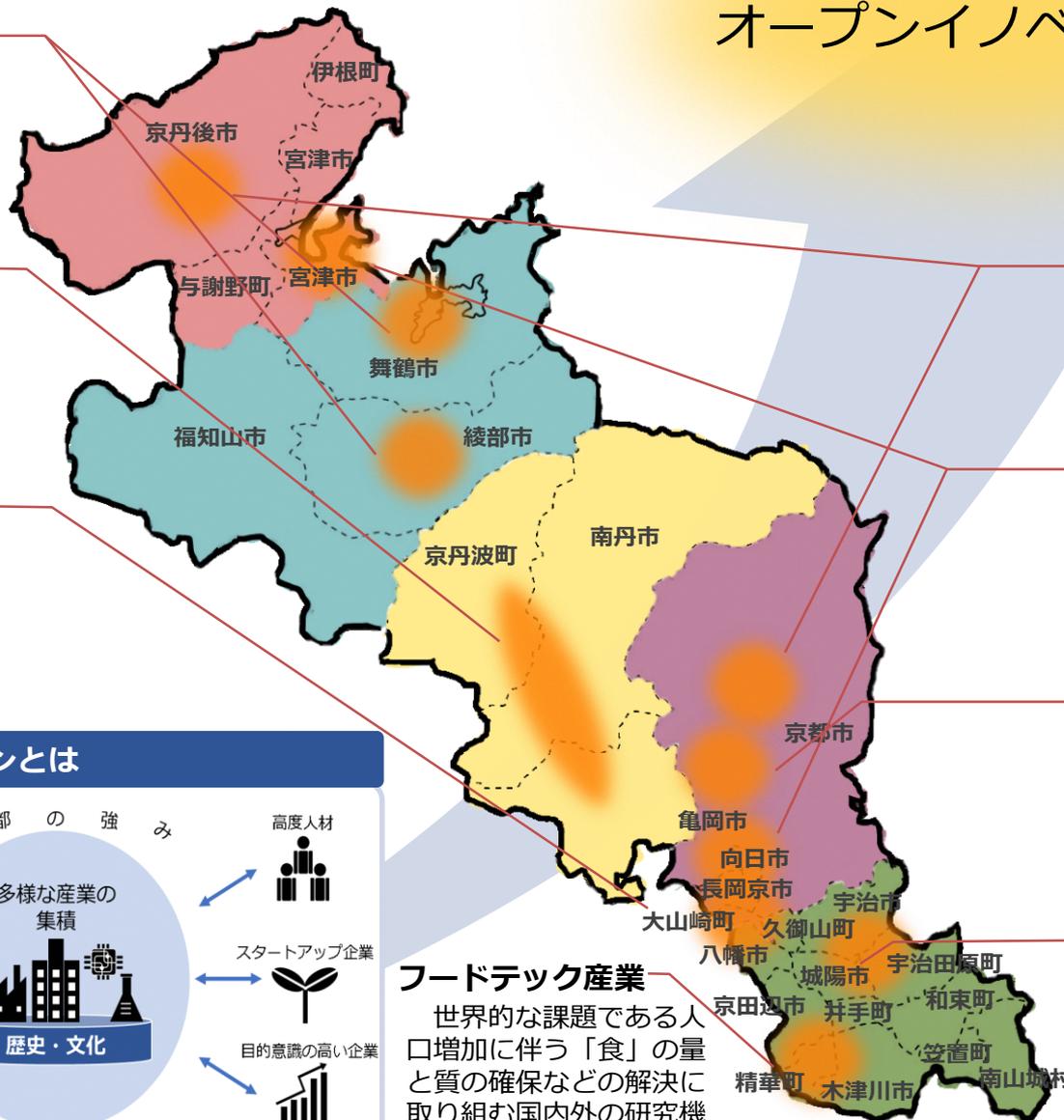
- ◎ ZET-Valley
- ◎ サステナブルパーク

クロスメディア産業

映画・ゲーム・アニメ・マンガ関連企業が集積するという世界でも珍しい京都の強みを生かしたコンテンツ産業の育成

新名神・近未来都市形成

新名神周辺エリアで、関西文化学術研究都市等の研究機関と連携し、先端技術を盛り込んだ近未来都市を形成



クロス産業集積エリア創出

スポーツ×ウェルネス×食

6

南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ 広域連携プロジェクト



明治国際医療大学(南丹市)

健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

- 府立丹波自然運動公園
- 府民の森ひよし

テーマ:ヘルス・スポーツ産業

産業創造リーディングゾーン

- 府立京都スタジアム
- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学



フットサル
スケートボード

府立京都スタジアム
「サンスタジアムby KYOCERA」(亀岡市)

中北部へのゲートウェイ機能

サッカー観戦を契機とした交流促進
eスポーツの聖地化



eスポーツ@スタジアム



府立丹波自然運動公園(京丹波町)



京都トレーニングセンター(京丹波町)

スポーツ&ウェルネス実証と人材育成

- 府立丹波自然運動公園
- 京都トレーニングセンター
- 府立須知高校
- 京都先端科学大学
- 明治国際医療大学

都市生活と田園生活がそれぞれ味わえる生活圏の創造

— 主な高速道路等

京都先端科学大学(亀岡市)



京都府立京都スタジアム (サンガスタジアム by KYOCERA)

スポーツを通じた「人材育成」と「イノベーション創出」を目指す「交流・賑わい拠点」

所在地	京都府亀岡市亀岡駅北1丁目8番地2 (JR亀岡駅から徒歩すぐ)	
観客席	約21,600人	
付帯施設	VPルーム	有り(VIPラウンジ、VIPルーム、スカイボックス)
	飲食・物販	フードコート、イベント時にはコンコースにも出店
	その他	会議室、防災備蓄倉庫、にぎわい創出エリア(VR・eスポーツゾーン、コワーキングゾーン、クライミング施設、足湯施設、保育園等)等
スポーツ興行	サッカー(国際大会、Jリーグ等)、ラグビー、アメフト、スポーツクライミング(全国大会)、ニュースポーツ、eスポーツ等	
防災機能	避難所としても機能。防災備蓄倉庫や非常用発電機を設置	
管理運営	指定管理者(合同会社ビバ&サンガ)が維持管理運営	



フィールド/スタンド



北広場/外部デッキ



スカイボックス



会議室



VIPラウンジ

スタジアムを核とした地域創生

子育て支援・人材育成
スタジアムを活用した
子育て支援や人材育成

イノベーションの創出
先端技術の積極的な
導入と実証

交流・賑わいの創造
365日賑わう
スタジアムへ

施設の概要 (賑わい創出エリア)



スポーツクライミング



びばっこ保育園
(日本初のスタジアム
内保育園)



木育ひろば
「KIRInoKO」



保育園 園庭散歩



国内スタジアム初の
自由視点カメラ常設



かめきたひろばecoマルシェ



3x3バスケット
ボールコート



ドローンサッカー
アリーナ京都



VR/フィットネスゾーン



ロボマスタープログラミング教室



ボルダリング教室



日本初のWiFi6による
e-スポーツ全国大会



ドローン活用事業(ドローンショー)



キッズスポーツフェスタ



ピッチ de テント泊



スポーツ医・科学サポートの拠点

～ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスそしてウェルネスへ～

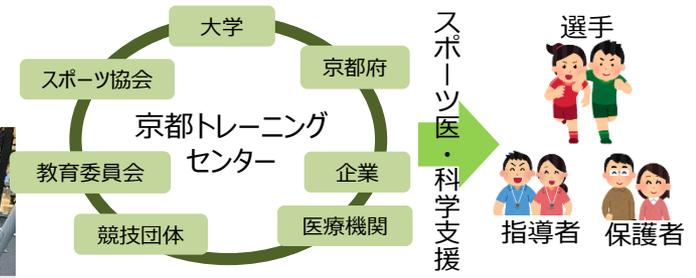
所在地	京都府船井郡京丹波町曾根崩下代110-7 京都府立丹波自然運動公園内 (京都市内から約60分(国道9号線～京都縦貫自動車道丹波IC) 「丹波IC」から約5分)
付帯施設	トレーニングセンター棟: ウェイトトレーニングルーム、パフォーマンスルーム、 体力測定室等 宿泊棟: 宿泊室(計54室、300名収容)、研修室、食堂等 その他: 丹波自然運動公園には、体育館、陸上競技場(第2種)、 テニスコート(16面)、球技場等設置
防災機能	避難所としても機能。防災備蓄あり。
管理運営	指定管理者(公財: 京都府立丹波自然運動公園協力会)が管理運営

- ハイパフォーマンススポーツセンター連携機関の指定 (全国17大学・機関)
- 日本パラリンピック委員会フィジカルチェック機関の認定 (全国12大学・機関)
- スポーツ庁: 地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業の選定 (全国5大学・機関)

高校生に対するスポーツ医・科学講習・支援 (座学・実技)



高校生でU21日本代表選出



地域の子どもたちに対する運動能力向上支援

小中学校でのスポーツ医・科学的アプローチ

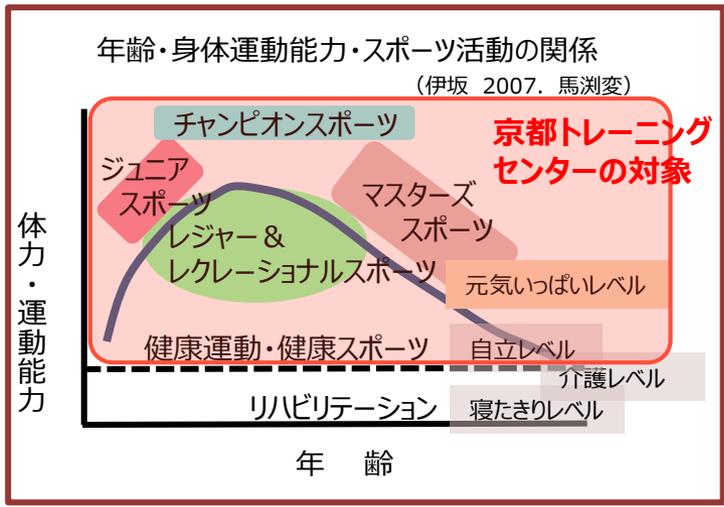


園児と親に対する【運動遊び】のアプローチ



年齢・身体運動能力・スポーツ活動の関係

(伊坂 2007. 馬淵俊)



地域住民に対する健康体力維持増進支援



パラアスリートへの支援



南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ 地域プラットフォーム

「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト」の実現に向けて、南丹地域内のステークホルダー（大学、スポーツ関係者、観光関係者、行政等）で構成する組織体

地域スポーツ・アスリート等支援

目指す方向性

京都トレーニングセンターを核として、国の機関や大学等と連携することで、質の高い練習環境や支援体制を構築し、地域のジュニアアスリートをはじめ、全国からアスリートが集う地域を目指す。
加えて、オリパラ効果の維持・発展を図りつつ、誰もがスポーツに参画できる社会の実現を目指す。

R4における取組

- ▶ トレセンのHPSCの連携機関認定
- ▶ 京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）の展開
- ▶ 京都トレーニングセンター フィジカルアカデミーの実証
- ▶ 日吉ダム湖を活用したボート練習の開始

今後の取組（R5以降）

地域におけるスポーツ医・科学支援体制の充実（スポーツ庁事業）

スポーツコミッションの取組開始（合宿等の宿泊情報の提供）
⇒体制の構築へ

スポーツ大会等の実施に合わせたアスリートとの交流イベントやスポーツ体験会等の実施（スポーツに触れる機会の促進）

スポーツコミッション

目指す方向性

国際大会や合宿、スポーツイベントの誘致に取り組むことで、エリア内でスポーツを通じた交流を広げる。
さらに、京都サンガF.CのJ1での活躍を契機に南丹地域を訪れる人々たちに対するホスピタリティの向上を図ることで、地域への新たな人の流れを作り、地域活性化に繋げる。

R4における取組

- ▶ サッカー観戦を通じた地域間交流や新たな関係人口獲得に向けた仕組づくり
- ▶ ツール・ド・京都丹波の実施
- ▶ ジュニア全日本自転車競技選手権大会における宿泊情報の発信
- ▶ 京都キッズスポーツフェスタの開催

今後の取組（R5以降）

他府県のサッカーチームと連携した情報発信による相互誘客の実施⇒関係・交流人口の拡大へ

スポーツコミッションの取組開始（合宿等の宿泊情報の提供）
⇒体制の構築へ（再掲）

スケートボードやクライミング等のニュースポーツに係るイベント誘致
⇒スポーツツーリズムの促進

健康づくり・ニューライフ推進

目指す方向性

都市部との良好なアクセスを生かしつつ、都市生活と、食や自然といった地域資源を取り入れた様々な取組や体験を提供することで、誰もが心身ともに健康で自己実現を図れる生活ができる地域の実現を目指す。

R4における取組

- ▶ 「養生」を核としたワーケーション推進事業（観光庁）の実施
- ▶ サイクルルートを活用した「ツール・ド×京都丹波2022」の開催
- ▶ 健康管理アプリ「YOMOGI」を活用した情報発信

今後の取組（R5以降）

「養生」をテーマとした地域のブランディング方策の検討・実施

関係団体が連携して実施する健康づくりイベント等の検討・実施

森林サービスやアウトドア体験に着目した企業研修や福利厚生メニューの検討・造成
⇒健康づくり・ニューライフ推進に係る取組の連携実施
⇒ワーケーションや二地域居住、農泊体験等を通じた多様な生活スタイルの発信

「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ」これまでの取組①



京都丹波サイクルツーリズムの推進

- 京都丹波サイクルルートを活用したスタンプラリーの実施
- 初心者向けサイクルツーリング体験会(17km程度。e-bike貸出有)



南丹地域を舞台に全5コースのサイクルルートを策定

⇒「ツールド×京都丹波」スタンプラリー開催

<発着点>

サンガスタジアム by KYOCERA
丹波自然運動公園

- 亀岡観光ショートコース (30km)
- 八木日吉周遊サイクリング (50km)
- 京都丹波周遊ライド (85km)
- 京都丹波縦断ライド (110km)
- 京都丹波一周ロングライド(140km)



全日本自転車競技選手権大会 ロードレース(ジュニア, U17)

- 南丹市美山町が舞台
- 森のDMOが宿泊情報の集約・発信に取り組み、滞在客を美山に誘導



京都キッズスポーツフェスタ @サンガスタジアム by KYOCERA

府内在住の小学生・保護者約4000名が、プロチームの選手らによるサッカーや3×3バスケットボール、卓球教室をはじめ、ポッチャ、フライングディスク、ダブルダッチ、ブレイクダンス、スポーツクライミングなど、今話題のスポーツ12種目を体験。京都トレーニングセンターによる体力測定会も実施(2023)



京都丹波 トライアスロン大会

- 南丹市八木町の大堰川緑地公園を発着
- 大会開催を通じてスポーツ振興を図るとともに、地域の魅力を発信



日吉ダム湖で初! 国体ローイング(ボート)競技 京都代表等が強化練習

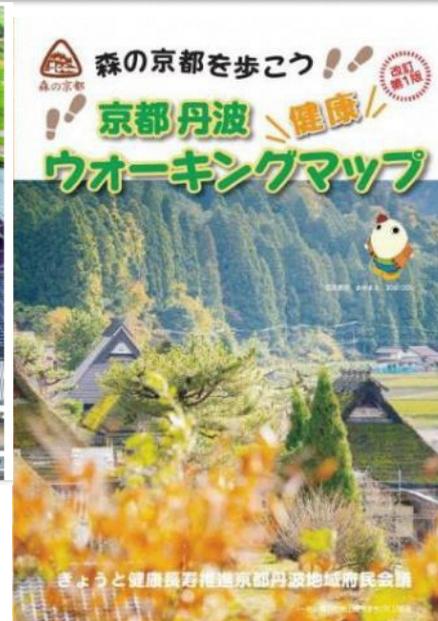
- 日吉ダム湖で初めて国体ローイング競技京都代表等が強化練習を実施(R5.8/16~8/18)
- 湖面が安定し、ローイング練習に十分な距離を確保できることから、選手からも好評

「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ」これまでの取組②

京都サンガ vs 横浜F・マリノス戦
 2023年12月3日(日) 14:00～キックオフ!!

観戦チケット バックS席 + 飲食チケット 3,000円分
 前売定価4,200円 12/2(土)~12/4(月)使用可

個人で前売りチケット買うよりも...
23%OFF 販売料金 **5,500円**



京都丹波 ウォーキングマップ

- ・府民の方々の応募による全21コースを掲載
- ・京都丹波の四季折々の自然や史跡を楽しみながらウォーキング

サッカースタジアムを核とした賑わいづくり

- ・スタジアム徒歩圏内の地元飲食店と連携した飲食クーポンを造成
- ・飲食クーポンと観戦チケットをセットにしたツアーを販売し、150席を完売(森の京都DMOが販売)
- ※飲食クーポンは、スタジアム内飲食店含む18施設で利用可能



東洋医学ワーケーション

～旅先で体と心を整えながら、実りある仕事を～

南丹市美山町・日吉町を中心に、豊かな森の中で、ヨガ・トレッキング・薪割・焚火などの体験プログラムの開発・提供

スポーツ医・科学をもっと身近に ～国のモデル事業(令和5～7年度)に採択、支援体制の整備等を推進～

京都府の主な取組内容

➤ 京都トレーニングセンター(府立丹波自然運動公園内)を拠点に関係機関が連携し、学校や地域のスポーツクラブにおいて、スポーツ医・科学によるサポートを身近に感じ、体験できる仕組みの確立

①支援体制の整備(コンソーシアムの形成)

行政・大学・団体・経済団体が参画する共同事業体「関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム」を設立し、関西スポーツ振興推進協議会*トッパアスリート育成事業等と連動した関西広域でのサポート体制を構築、また同コンソの部会として「京都スポーツ医・科学サポートコンソーシアム」を設立

*)経済団体、自治体、スポーツ関係団体、大学等が一堂に会し、関西におけるスポーツ振興の取り組みについて、議論・検討・推進を行う会議体

②相談窓口の設置

オンライン等も活用し「いつでも、どこでも、誰でも」スポーツ医・科学に触れ、相談できる環境を整備

③スポーツ医・科学サポートプログラム

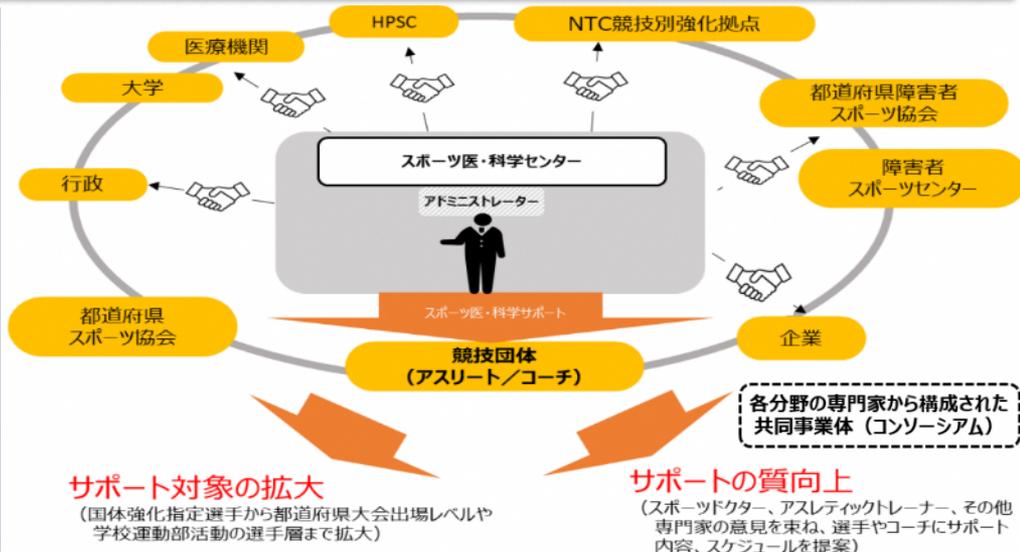
学校等を巡回し「スポーツ医・科学測定会」を開催するとともに、測定結果を基に継続的にアプローチする機会を創出

④スポーツ医・科学資源の見える化

コンソーシアム形成を通じて構築した支援体制を基に「どのような支援を受けられるのか」をマップ作成により見える化

⑤人材育成

京都トレーニングセンターにおいてインターシップを受け入れ、近隣府県を含むスポーツ医・科学体制の充実を図る



関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム (案)

Kansai Sports Medicine and Science Support Consortium

<p>スポーツ医・科学支援データベース構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西圏におけるスポーツ医・科学支援ナレッジ・リソース(支援内容及び費用、人材、施設、機関)の調査 ・関西スポーツ医・科学サポート連携マップ(リファーマップ)の作成 ・関西圏の競技団体/個人への情報発信手段構築 ・関西スポーツ振興推進協議会【トッパアスリートの育成】医科学支援事業との連携・協働 ・関西広域連合(構成団体及び連携団体*)との連携を 目指す <p><small>※関西広域連合 構成団体: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市 連携団体: 福井県、三重県</small></p>	<p>スポーツ医・科学支援事業(検査/測定・指導プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置及び助言(女性アスリート支援含む) ・スポーツ医・科学連携マップ(リファーマップ)を基にしたマッチング及び支援の実施 ・オンラインでのスポーツ医・科学に関する情報発信 ・医・科学測定会の開催 ・学生を対象とした協力測定員制度の導入及OJT ・関西におけるスポーツ医・科学研究機関との連携 ・HPSCネットワーク事業との連携
<p>広報啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアムHPの公開 ・コンソーシアム活動紹介 ・オンラインでのスポーツ医・科学に関する情報発信(再掲) ・関西スポーツ振興推進協議会【トッパアスリートの育成】アスリート派遣事業との連携 ・関西スポーツ振興シンポジウムでの情報発信 	<p>部会等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各府県でのコンソーシアムの設置を推進 (例: 京都スポーツ医・科学サポートコンソーシアムを年内に設置予定) ・健康増進、産業振興に関する部会等の設置を推進 <p>事務局: 京都トレーニングセンター</p>

体制の土台となる「**関西スポーツ医・科学サポートコンソーシアム**」を設置(R5.11.20)、コンソーシアム構成団体との連携・協働により各取組を推進

※「**京都スポーツ医・科学サポートコンソーシアム**」は令和5年度中に設置予定

「TANTANアルベルゴ・ディフィーゾ」ウェルネスツーリズム ～「森のホテル」で過ごす新しい2泊3日の森林浴プログラム～

実施体制：森の京都DMO/京丹波町/南丹市/京都府南丹広域振興局/(株)MU/(株)フリープラス/(株)JTB京都中央支店

- 南丹市と京丹波町の8割以上を占める森を有効活用し、時代に適したウェルネスツーリズムをインバウンド向けに販売（※国内でも販売予定）
- 「アルベルゴ・ディフィーゾ」の概念を取り入れ、両市町全体を「広大な森のホテル」と捉え、域内の宿泊施設、観光施設、飲食店と連携し、様々なアクティビティを組み込んだ「森林浴プログラム」を楽しんでもらう。
- その発祥は日本と言われている「森林浴」を発展させ、日本の森で過ごせる価値の高い癒しのひとときを提供

<体験コンテンツ・イベント等の内容>

- ◆ 京都駅から車で1時間で到着でき、京都縦貫自動車道「京丹波PA」に併設された「フェアフィールド・バイ・マリOTT京都京丹波」を「総合エントランス」として機能
- ◆ 宿泊者はエントランスにて、明治国際医療大学（伊藤和憲教授）が開発した健康診断・養生アプリ「YOMOGI+」を活用して診断。3つのタイプに合わせて用意された多彩な体験プログラム・アクティビティから4つのプログラムを選択し滞在（2泊3日）

<実績>

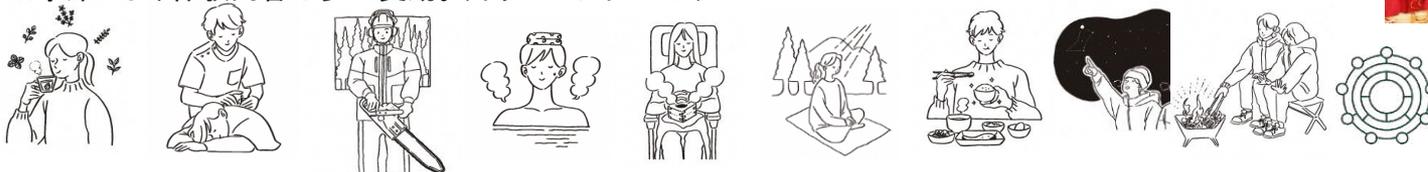
- 販売実績 **5名**（費用：約20万円）
- R5.11月～販売開始、12/20～ツアー受入開始
- 今年度はプログラムを固定して販売

○商談実績 **約50名**の申込検討者あり

（体験プログラム・アクティビティ例）

- 1.森の中でスポーツ「モルック」
- 2.野外サウナ体験
- 3.森の中で地元食材のピザづくり
- 4.薪割り体験
- 5.箱灸リラクゼーション
- 6.灸治療
- 7.ハーブの養生茶体験
- 8.ジビエ鍋体験
- 9.山の温泉体験
- 10.天体観測
- 11.森林ヨガ
- 12.日本の朝御飯
- 13.林業体験
- 14.焚き火体験
- 15.日本の森歩き体験
- 16.農業体験 etc

※季節により体験内容は少々変動。（イラストはイメージ）



<参考>企業との連携事例：株式会社モンベルとの連携協定

(株)モンベルと京都府は、アウトドア活動等の促進を通じて地域の活性化と府民生活の質の向上を図るため、「連携と協力に関する包括協定」を締結 (R5.11.27)

mont-bell



京都府

■ 連携事項

- ① 自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関すること
- ② 子どもたちの生き抜いていく力の育成に関すること
- ③ 自然体験の促進による健康増進に関すること
- ④ 防災意識と災害対応力の向上に関すること
- ⑤ 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関すること
- ⑥ 農林水産業の活性化に関すること
- ⑦ 高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に関すること

協定の特徴

- ▶ 京都府が取り組んでいる「南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト」との連携から開始予定 (将来的には府域全体への展開も想定)



京都府と株式会社モンベルとの
連携と協力に関する包括協定締結式



協定書の署名には(株)モンベルの商品の「野筆セット」を、
協定書には京都府の指定無形文化財の「黒谷和紙」を使用 14

<参考>企業との連携事例：株式会社湖池屋との包括連携協定

(株)湖池屋と京都府は、相互の連携を強化することにより、地域の活性化及び府民サービスの向上を図るため、地域活性化包括連携協定を締結 (R5. 7. 31)



会社名 株式会社湖池屋
本店所在地 東京都板橋区
京都工場 南丹市園部町

■連携事項

- ① 京都府産農林水産物を使用した商品の開発・販売に関すること
- ② 子育て環境日本一・京都の実現に関すること
- ③ 災害対策に関すること
- ④ 環境保全に関すること
- ⑤ 地域の安心・安全に関すること
- ⑥ その他地域活性化及び府民サービス向上に関すること



取組例

「湖池屋プライドポテト JAPAN 京都 柚子七味」の開発・販売

- **南丹市産の柚子を京都嵯峨嵐山の七味屋「かみ舎楽」が特別にブレンドした柚子七味を使用した新商品**
- 商品を通じた地域貢献プロジェクト「**湖池屋 JAPAN PRIDEプロジェクト**」の一環として開発・販売
- **売上1袋につき1円を京都府の文化財の保存・継承・活用事業に寄付**



文化庁京都移転記念イベント「今日、ハレの日、」ブース出展への協賛

「森の京都」のPRへの協力

- **「森の京都」の魅力発信に取り組む「森の京都DMO」の各種事業に協賛**
- 「湖池屋プライドポテト JAPAN 京都 柚子七味」のPRを通じて、湖池屋京都工場の所在地である南丹市を含む「森の京都」の発信に協力
 - ・文化庁京都移転記念イベント「今日、ハレの日、」
 - ・森の京都QRトレイン貸切列車で行く福知山ツアー
 - ・ALL KYOTO FES～京都とつながる一日～ etc



参加者に「湖池屋プライドポテトJAPAN 京都 柚子七味」プレゼント

<参考>サンガスタジアム周辺での賑わいづくりの取組

府中北部地域へのゲートウェイとしての機能を高めるため、サンガスタジアムを核にした地域の賑わいづくりを推進

【課題】 サンガの試合日には府内外から多くの集客があるが、直行直帰のサポーターが多く、その集客効果が周辺地域に十分行き渡っていない。

【対策】 他地域との交流による相互の集客拡大・周遊促進を図るとともに、滞在時間の拡大等によるスタジアム周辺への経済効果の発現を目指し、相互の観光・飲食情報等を発信するなどの取組を他府県・地元市町、森の京都DMOと連携して推進

【取組事例】 京都サンガのホーム戦に合わせて開催されている「かめおかecoマルシェ」で、対戦チームの自治体がブース出展・観光情報を発信するなど他地域との交流を開始。（R5.9.23サンフレッチェ広島戦）



アンケートやアプリ登録にご協力いただいたサポーターの方に特産品をプレゼント!!



その他の取組として、

- ・スタジアムを発着地とするサイクルイベントの開催
- ・地域の子どもが多様なスポーツに触れられる機会の創出等

多様なスポーツ資源を活用した賑わいが創出される地域づくり

企業の皆様と意見交換したいこと

現状の課題認識

- ◆ 広域連携Pを展開するには、行政だけの力（人・予算・知恵・経験etc）には限界（仲間づくりが必要）
- ◆ （仲間を集めるには）幅広い関係者が共感しあえるテーマ・コンセプトが必要
- ◆ （プロジェクトを進めるには）広域連携Pの「核（拠点）」を築き、それらを有機的につなげ面的な取組への展開が必要
- ◆ （地域振興のためには）今ある地域のポテンシャルを活用し、持続可能な仕組みが必要



京都府の目指したいこと

- ①「スポーツ&ウェルネスをテーマにした新産業創出等」民間企業や大学等との連携のもと、スポーツやウェルネスの分野で世界から注目されるテーマを掲げ、そのテーマに取り組む研究ラボや企業施設の集積（立地・誘致）※を進め、この地でオープンノベーションの拠点「産業創造リーディングゾーン」を形成したい。〔※京都府農林水産技術センター跡地（亀岡市内）の活用など〕
- ②「地域資源を活かしたビジネスモデル」地域ポテンシャルを活かした実証的な取組の実践を通じて、地域の活性化につながる、新たなライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を目指したい



企業や大学等の皆様と取り組んでいきたいこと

■ 企業等の皆さんと勉強会の開催・仲間づくり

1. スポーツやウェルネスに関わる南丹地域のポテンシャルを活かしたビジネスモデルのテーマ・コンセプトや、地域に求められるニーズ・価値を一緒に考えていきたい。
2. 地域資源を活かした、都市部・農村部の二者択一ではない、新たな生活様式（続くものと新しいものとの融合？ワーケーション／二地域居住等）の実証的な取組を一緒に考えたい。

■ 南丹地域のポテンシャル

- ✓ 地理的条件（都市部から“遠すぎない”、ちよい旅。気軽な遠距離）
- ✓ 自然環境
- ✓ 食・農産物
- ✓ スポーツ環境（アスリート、市民スポーツ、生涯スポーツ・健康づくり）

■ 働き方・生活様式の多様化

- ✓ 「定住」に限らないLife styleも。
- ✓ ワーケーション／二地域居住／定住



何から始めていくか

■ 京都府の目指したいこと(南丹地域広域連携プロジェクト)

- ①「スポーツ&ウェルネスをテーマにした新産業創出等」
「スポーツ&ウェルネス」をテーマに、企業誘致、新産業創出(産業創造リーディングゾーン)、新しいビジネススタイルの実証誘致による地域振興につなげていきたい。
- ②「地域資源を活かしたビジネスモデル」
地域資源(スポーツ拠点、自然環境、農産物等)を活かしたビジネスモデルを作りたい。

①「スポーツ&ウェルネスをテーマにした新産業創出等」

②「地域資源を活かしたビジネスモデル」

①、②の実現に向けて、何が必要か。何から始めるのか？

(目標の設定・コンセプトづくり)

- 京都府は、具体的に①、②の何を目指していくのか、やりたいのか。
- ①、②に関して、企業や大学等が関心のあるものは何か。
あるいは、企業にどうしたら関心を持ってもらえるか。

(方法論・仲間づくり)

- 企業や大学等を巻き込んでいく(参画を促す)には。
- 企業等とどのような形で対話していくのか。
- どのように、テーマに見合う議論の場組(研究会?勉強会?個別プロジェクト?)を作り上げていくのか。

- ・ここに来て欲しい人はどんな人か?
- ・どんな人に来て欲しいのか。
- ・南丹地域の利用価値、期待されるものは?



<参加して欲しい企業>

- ・スポーツやウェルネス関連事業者(健康機器等の家電メーカー等含む)
- ・食やサプリメント等の食関連産業事業者
- ・スポーツ&ウェルネスビジネスに関心のある企業
- ・健康経営やワーケーション等実践企業
- ・スタートアップ等との連携事業を推進する企業 など



京都府からのお願い
今後、立ち上げる交流会等へのご参画をお願いしたい。

スポーツ&ウェルネスビジネスの創出

スポーツ&ウェルネス新産業創出交流会（スポエル交流会）

多様な視点からのディスカッションを通じ、スポーツや健康に関する社会課題の解決に向けて、南丹地域をフィールドとして、新たなプロジェクトの芽を見つきたい。

【京都府の社会課題】

- ① 府内女性の健康寿命が全国最下位。その要因である肩こりや腰痛、うつ病等こころの病気を改善したい。
- ② 運動実施率を向上させたい

【キーワード】 スポーツ、ウェルネス、フードテック、オープンイノベーション

南丹地域のスポーツ拠点



府立京都スタジアム



京都トレーニングセンター

第1回スポエル交流会

令和6年3月1日（金）
サンガスタジアム by KYOCERA VIP会議室

スポーツやウェルネス、「食」に携わる事業者や関心を持つ様々な事業者が参加（参加団体 15企業等）

- | | |
|------------|---|
| 大企業 | ： (株)アシックス、セントラルスポーツ(株)、(株)電通 |
| スタートアップ企業等 | ： Ghoonuts(株)、(株)グレースイメージング、
(一社) チームキノウ、(株)プロキダイ、ヨクト(株) |
| 京都企業 | ： (株)鼓月、ジーク(株) |
| 金融機関 | ： (株)京都銀行、(株)三菱UFJ銀行 |
| 南丹地域スポーツ拠点 | ： 京都トレーニングセンター、(同) ビバ&サンガ |
| ガサバー | ： (公社) 関西経済連合会 |
| 京都府 | ： 関係部局 |



交流会風景



名刺交換・
情報交換会

今後も、幅広い分野から企業や大学等の参加を呼びかけ、オープンイノベーションの拠点づくりを進めていく

例えば、どんな産業創出を夢見ているのか。

➤ 企業の有するセンシング技術や運動プログラム、イベント企画ノウハウを組み合わせた運動習慣を促す仕組みづくり

- ✓ 地域のマラソン大会等で、京都トレーニングセンターと企業、行政がタイアップし、アスリートの運動負荷や能力に応じた適正運動量などを評価するセンシング技術と京都トレーニングセンター等が有する運動プログラムのノウハウを組み合わせて、大会参加者が自己ベスト更新を目指すトレーニングプログラムを提供できないか。
- ✓ 長期的には、企業が有する運動や健康促進アプリとユニバーサルスポーツなど様々なスポーツイベントの企画ノウハウを組み合わせて、運動が苦手な方でも楽しみながら運動できる定期的なイベントや発信活動を通じて、運動の習慣化を促す仕組みを造成できないか。

➤ 女性や高齢者等の健康寿命延伸に向けた実証事業や新製品・サービスの開発

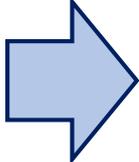
- ✓ 京都府の女性の肩こり・腰痛改善に向けた普段の生活の中で運動可能なトレーニングウェアなどの新製品・サービスの開発や、その普及に向けた実証試験を実施できないか。
- ✓ または、地域内の高齢者の健康づくりをサポートするとともに、高齢者のデータを取って転倒予防に繋がる歩き方や運動プログラム、それをサポートするオリジナルシューズ「森の京都スニーカー」の開発へ展開できないか。

➤ 企業と連携した運動や健康、生活データなどの統合データベースの構築と運用

- ✓ 以上の取組等で得られた運動や医療データなどに加え、南丹地域内で学校での体力測定結果や健康診断、生活行動等のデータを収集したデータベースを構築し、それを各社の事業開発や社会課題解決に向けた取組に活かせるような仕組み・環境づくり(コミュニティづくり)を進められないか。

➤ 南丹地域の農産物を活用した機能性食品の開発

➤ ワークेशन・スポーツツーリズムを活かした新ビジネス等の創出を推進 など



スポーツ&ウェルネス（心と体の健康）、フードテック産業等をテーマに新産業創造に向け、産学公連携による多様な産業の集積を推進

ご参考
(南丹地域の紹介)

南丹地域の地理

広大な森林

森

里山

森と川とともにある
暮らしの文化

京都府全域の森林面積のうち、**27.6%**が京都丹波エリア

京都丹波エリアの総面積のうち、**82.6%**が森林面積
(94,427ha)



河岸段丘@京丹波町・和知



川の駅『亀岡水辺公園』

保津川の舟運の歴史が学べ展示ルーム、デイキャンプ&バーベキュー、ラフティングやカヌー、サップなどの水辺アクティビティ、トイレ・水洗い場・シャワールーム・更衣室完備



カヌー体験@京丹波町・和知川



ラフティング@保津川



霧@亀岡

良質な「食」



森の京都



京都丹波



米

丹波キヌヒカリ、コシヒカリが多い
酒造用米の作付けも定着してきた
(祝、京の輝き)

京都府総面積 4,612.20km²

総耕地面積 29,100ha

うち田面積 23,300ha

うち南丹管内 6,500ha(約27.8%)

<近畿農林水産統計年報(平成30年～令和元年)>



豆

丹波大納言小豆
瑞穂大納言小豆
馬路大納言小豆
丹波黒大豆
紫ずきん(黒大豆枝豆)

地元産の豆を利用した味噌
黒豆みそ・赤みそ・白みそ
古くから豆の産地



野菜

みず菜、壬生菜、伏見とうがらし、
紫ずきんをはじめ12品目の野菜が
「京のブランド産品」に認証
出荷金額は3億円で府全体の30%
(令和元年度)を占める

良質な「食」



丹波くり

丹波地域で生産される栗の呼称
大粒で甘みがあり、香りもよい
歴史は古く、日本書紀(720年)に登場



丹波マツタケ

香りの良さと弾力に富んだ菌ごたえ
マツタケが発生しやすいマツ林にするための環境整備に取り組んでいる



そば

京都丹波は、府内生産の約50%を
占める府内最大のそば産地



肉 府内有数の畜産地域

乳用牛	2,246頭(57%)
肉用牛	3,564頭(68%)
豚	13,404頭(99%)
鶏	795,146頭(35%)



鮎

かつて美食家・北大路魯山人が愛した和知川の鮎。京都丹波の鮎のブランド化に向け、「京都・丹波あゆ街道」の取組が行われている



ジビエ

シカ・イノシシ肉の魅力(低脂肪・高タンパク質、鉄分・ビタミン多い)を発信するため、森の京都エリアの料理店を紹介する「森の京都ジビエフェア」を開催



アシウスギ
(京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林-提供)



琴滝(京丹波町須知)

府内最大落差約43メートルの
府内最大級の滝
京都の自然200選



保津峡

(亀岡市保津町・篠町、
京都市右京区嵯峨)

高さ25mもの大岩壁や層
チャートの書物岩が見られる。
府立自然公園
京都の自然200選

京都丹波高原国定公園

■所在地

京都市、綾部市、南丹市、京丹波町

■指定年月日

平成28年3月25日

(一部変更: 令和2年3月31日)

■面積

68,851ha

(一部変更後の面積: 69,158ha)



質志(しずし)鍾乳洞

(京丹波町質志)

府内唯一の鍾乳洞
ウミユリなど海の動物の化石も発
見されている。
京都の自然200選

歴史的行事・伝統芸能



亀岡祭山鉾行事(亀岡市)

鍬山神社の鍬山宮・八幡宮二社の秋の例祭
京都府無形民俗文化財

11基の山鉾がお囃子とともに町内を巡行する



佐伯灯籠(亀岡市ひえ田野町佐伯)

国重要無形民俗文化財に指定。五穀豊穡を願う地域のまつりとして、農作業の様子を表す人形が飾られた5基の灯籠がみこしとともに地域を練り歩く。「台灯籠」と呼ばれる移動式の小さな舞台では、背丈30cmほどの人形を操る浄瑠璃が演じられる。



- 2023年度の予定
- 亀岡祭山鉾行事
10月23～25日
 - 佐伯灯籠
8月14日



田原の御田 (南丹市日吉町)

国重要無形民俗文化財に指定
一年の田の耕作過程を模擬的に演じて見せる
豊作祈願の伝統芸能

※毎年5月3日に実施

和知人形浄瑠璃 (京丹波町和知)

京都府無形民俗文化財
人形が大ぶりであること、一体の人形を
一人で操ることが特徴

※道の駅「和」伝統芸能常設館にて
定期開催(概ね毎月)



<参考>

森の京都エリアの「観光まちづくり」を担う法人

森の京都DMO（一般社団法人森の京都地域振興社）

「森の京都DMO」は、

森の京都エリアの総合プロデューサーとして、

地域の魅力を引き出し、地域力を高めるための組織です。

森の京都DMOは、観光を通じた地域活性化を目指し、京都府と府中部地域の5市町によって2017年に設立されました。観光地域づくりの中核、舵取り組織として、交流人口を拡大させるとともに、食をはじめ地域資源のブランド化を図り、地域の稼ぐ力を創出してまいります。



体験コンテンツの開発

「刀鍛冶」「乗馬」「金継ぎ」等の体験観光コンテンツの開発



御城印めぐり

森の京都エリアに点在する城址、城跡を巡り「御城印」を集めよう



森の京都文化観光サポーター

森の京都エリアの無形文化財の魅力を発信し、お祭りや後継者育成のための活動をしています。



森の京都ファンクラブ

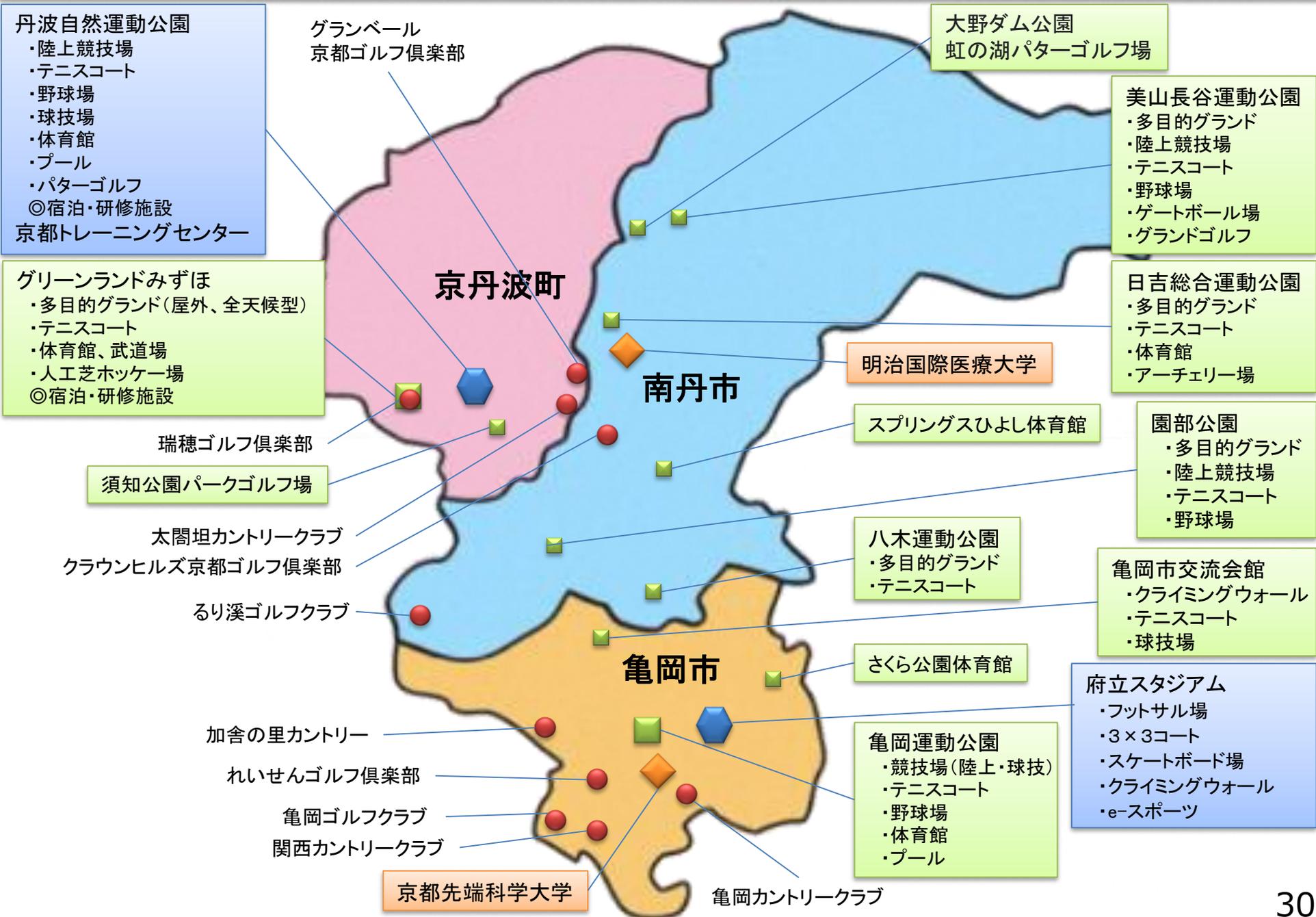
森の京都エリア内のお得なサービスを受けられる会員制度



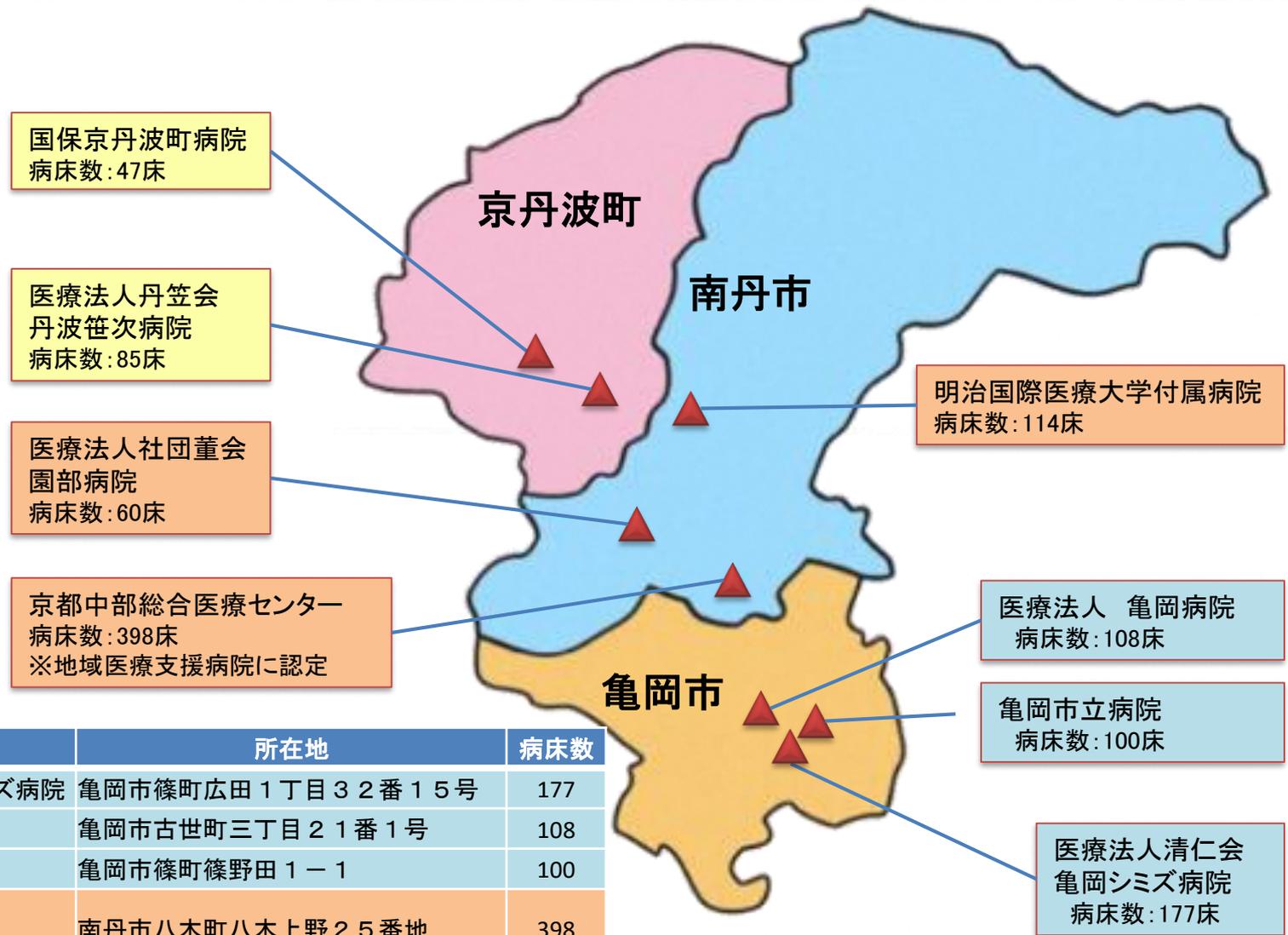
鉄道とカーシェアでめぐる森の京都

お得で便利に森の京都エリアを巡る観光周遊カーシェアリング

<参考>南丹地域内の大学・スポーツ施設（陸上・球技、テニス、体育館、プール、ゴルフ場）



< 参考 > 南丹地域内の医療機関



病院・診療所名	所在地	病床数
医療法人清仁会 亀岡シミズ病院	亀岡市篠町広田1丁目32番15号	177
医療法人 亀岡病院	亀岡市古世町三丁目21番1号	108
亀岡市立病院	亀岡市篠町篠野田1-1	100
京都中部総合医療センター ※地域医療支援病院に認定	南丹市八木町八木上野25番地	398
明治国際医療大学附属病院	南丹市日吉町保野田ヒノ谷6-1	114
医療法人社団 董会 園部病院	南丹市園部町美園町5号8番地7	60
医療法人丹笠会 丹波笹次病院	船井郡京丹波町須知町裏13番地の7	85
国保京丹波町病院	船井郡京丹波町和田大下28番地	47

京都先端科学大学

本部所在地 京都市右京区
学部学科構成 5学部11学科

■京都亀岡キャンパス(学生数約740名)	バイオ環境学部	食農学科 バイオ環境デザイン学科 バイオサイエンス学科
健康医療学部 大学院 オープンイノベーションセンター・亀岡 アクティブヘルス支援機構	健康スポーツ学科 バイオ環境研究科	
■京都太秦キャンパス(学生数約2,940名)	経済経営学部 人文学部 健康医療学部 工学部 大学院	経済学科・経営学科 歴史文化学科・心理学科 看護学科・言語聴覚学科 機械電気システム工学科 経済学研究科、経営学研究科 人間文化研究科、工学研究科
教職員数教員・事務員 学生数	約250名 約3,680名	(R5.5.1現在)

明治国際医療大学

所在地	南丹市日吉町
学部学科構成	3学部4学科
鍼灸学部	鍼灸学科
保健医療学部	柔道整復学科、救急救命学科
看護学部	看護学科
大学院	鍼灸学研究科 保健医療学研究科
教員	約100名
学生数	約1,000名 (R5.5.1現在)

南丹地域内の高等学校

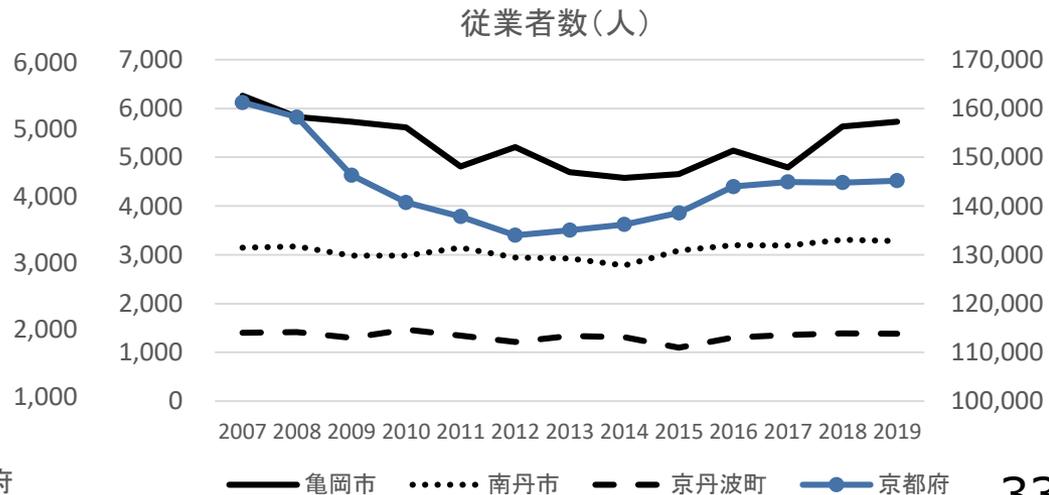
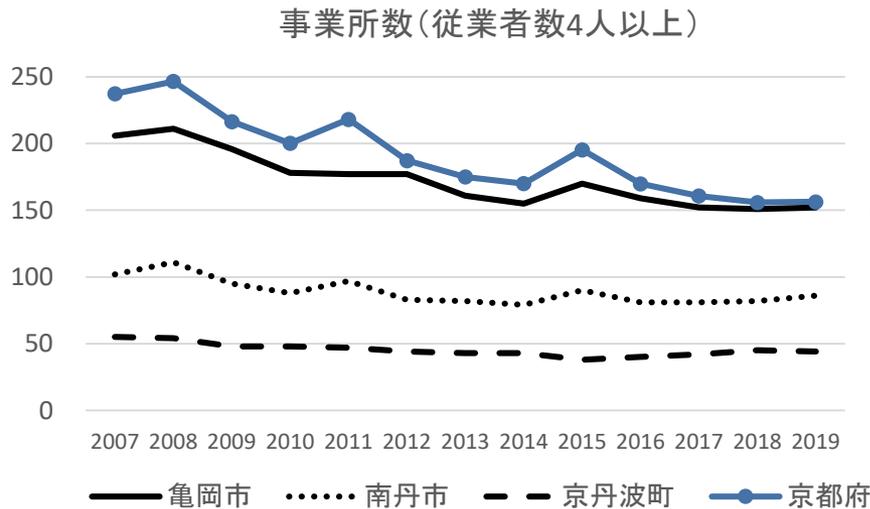
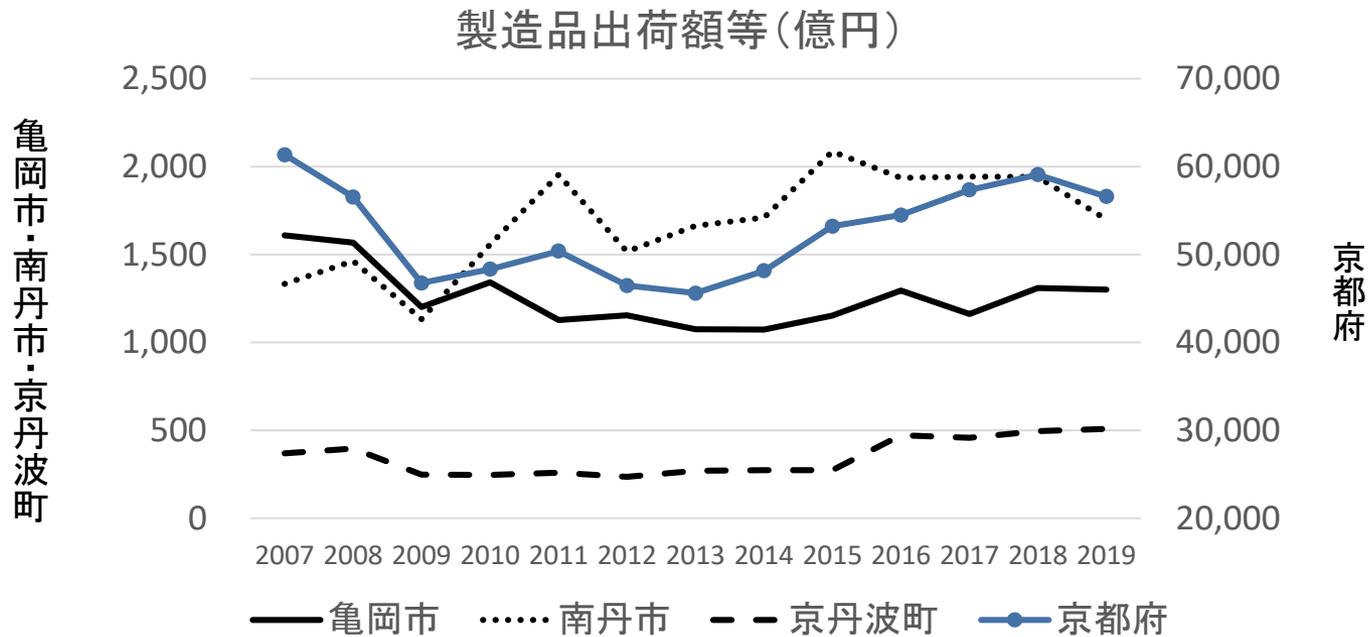
	名称	所在地	学科
府立	亀岡高等学校	亀岡市	普通／美術・工芸／探求文理
	南丹高等学校	亀岡市	総合
	園部高等学校	南丹市園部町	普通
	農芸高等学校	南丹市園部町	農業生産／園芸技術／環境創造
	北桑田高等学校	京都市右京区京北	普通／京都フォレスト
	北桑田高等学校 美山分校	南丹市美山町	農業／家政
私立	須知高等学校	京丹波町	普通／食品科学
	京都聖カタリナ 高等学校	南丹市園部町	普通／看護

全国大会レベルの部活動(スポーツ)

- 北桑田高校
自転車競技部
ワンダーフォーゲル部スポーツクライミング競技
- 須知高校
ホッケー部(男子・女子)

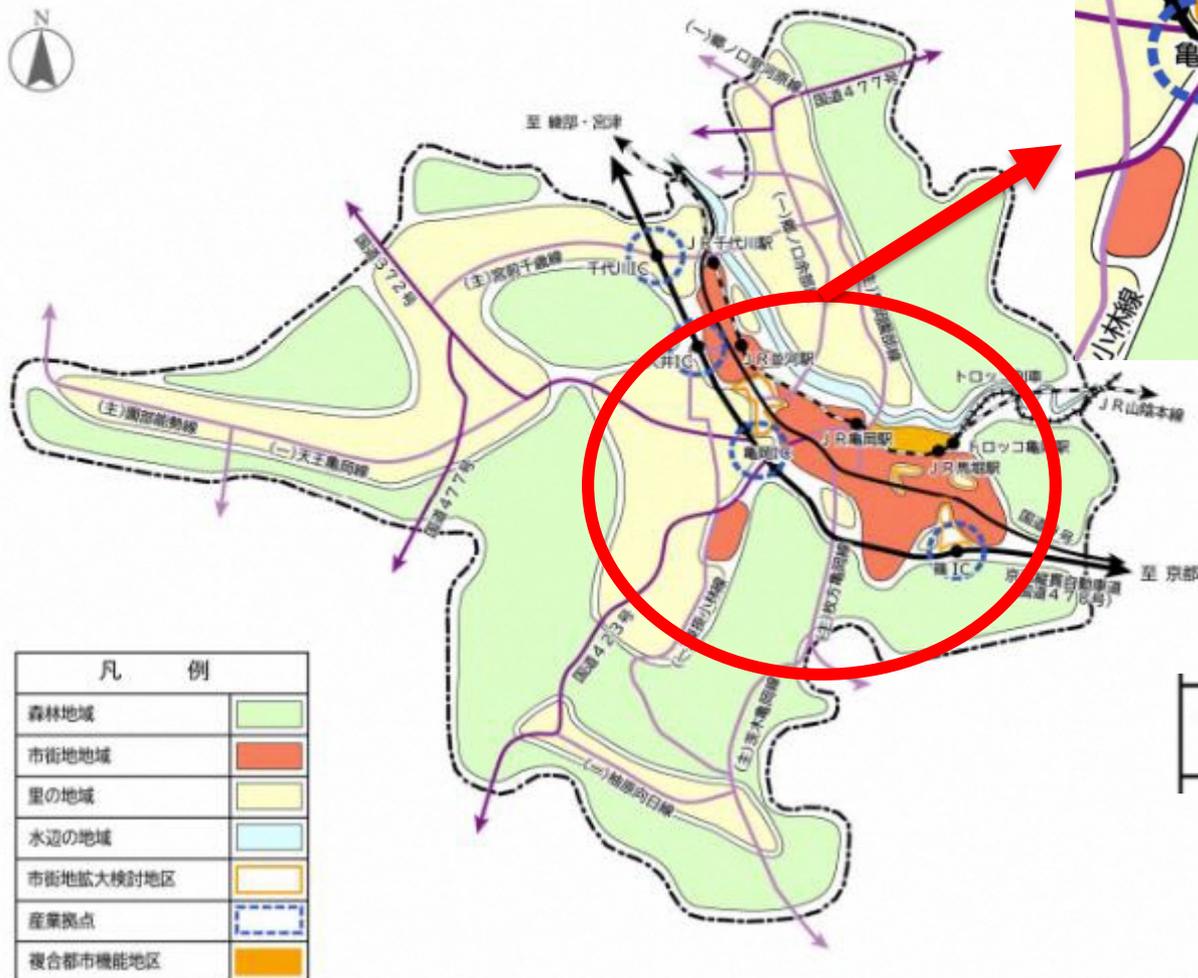
など

<参考> 南丹地域内の産業活動指標



<参考> 亀岡市都市計画マスタープラン (令和4(2022)年3月)

■ 市域全域の土地利用方針図



凡 例	
森林地域	
市街地地域	
里の地域	
水辺の地域	
市街地拡大検討地区	
産業拠点	
複合都市機能地区	



市街地拡大検討地区	
-----------	--

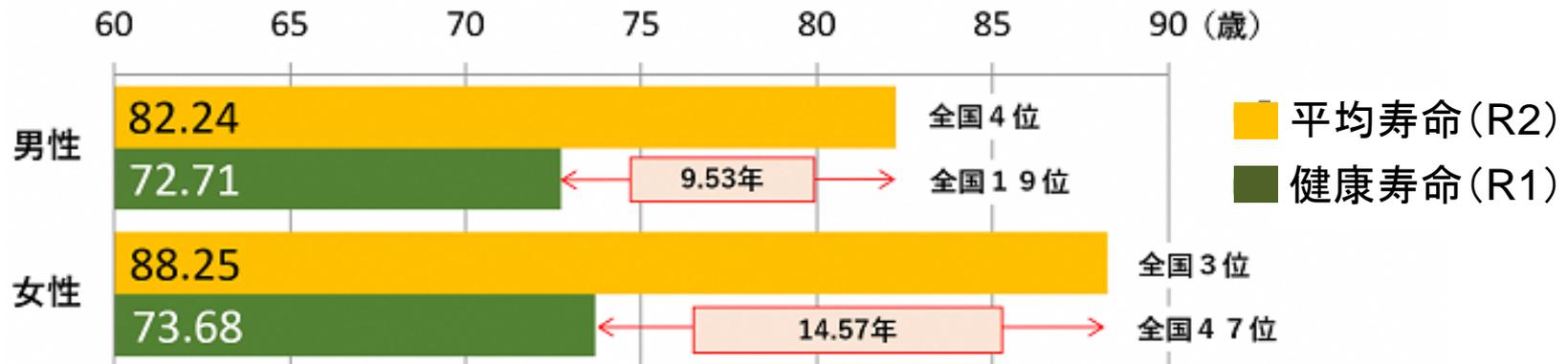
<参考> 京都府における平均寿命と健康寿命

■ 平均寿命（令和2年）

男性82.24（**全国4位**）、女性88.25歳（**全国3位**）
男女とも全国順位は上位に位置して年々伸びている。

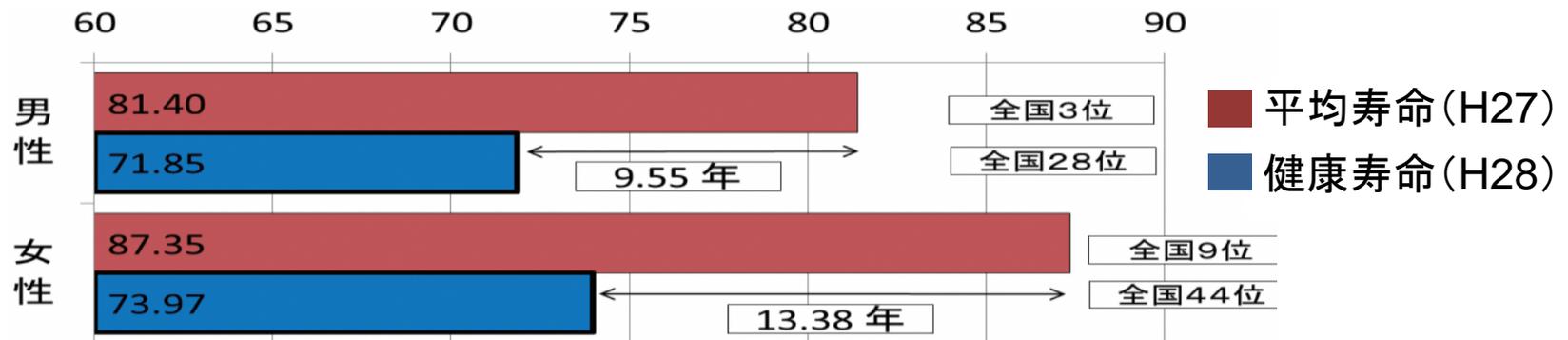
■ 健康寿命（令和元年）

男性72.71歳（**全国19位**）、女性73.68歳（**全国47位**）と低位



出典: 京都府HP

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/kenkoujumyokoujyoutaisakujigyou-houkokusyo.html>



出典: 京都府HP

<https://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/documents/2-1-2syou-datehealthp1-p27.pdf>

①生活習慣の課題

- 男女ともに朝食欠食は少なく、女性の飲酒が少ないのが3市町に共通する特徴
- 南丹地域の特性や疾病状況を踏まえ、特に禁煙、運動・歩行の習慣化の取組がより一層必要
- 特に運動・歩行不足は将来の要介護・フレイルにつながる恐れがあるため、壮年期・高齢期通じての取組が必要

男性	亀岡市	タバコ・歩行なし・就寝前食事	女性	亀岡市	タバコ・歩行なし・就寝前食事・間食
	南丹市 京丹波町	タバコ・運動なし・歩行なし・ 毎日間食・毎日飲酒		南丹市	体重増加・運動なし・歩行なし
				京丹波町	運動なし・歩行なし・就寝前食事

②健診有所見：リスク該当の割合（京都府全体との比較）

- 南丹管内では、メタボ・血圧・血糖リスク対策が重要な柱
- いずれも生活習慣(喫煙、運動、食事、飲酒など)が大きく関与しているため、生活習慣の改善に取り組む必要

男性	亀岡市	メタボ予備群・血圧リスク	女性	亀岡市	肥満・メタボ・メタボ予備群・血圧
	南丹市 京丹波町	メタボ予備群・血圧リスク・血糖 リスク		南丹市	メタボ・血圧・脂質
				京丹波町	メタボ予備群・血圧リスク

生活習慣改善対策の一つとして
運動・歩行不足対策

<地域の健康課題と対応策>

- ・管内の交通機関の整備状況・運動設備・生活スタイル(車社会など)から、運動不足・歩行不足となっていると推測される。
- ・府・市町・保健所それぞれが実施する運動・体操・ウォーキング事業の充実と参加促進を進める。

<実施している事業>

- きょうと健康長寿京都丹波地域府民会議 運動普及部会 運動普及の取組
- 健康ウォーキングマップ作製
丹波地域の豊かな自然や名所を巡りながら健康づくりに役立つためのウォーキングマップを各所に配布
- なんたん元気づくり体操普及啓発リーダー養成事業
転倒予防を重視した体操のリーダー養成
- きょうと探検ウォーキング事業(ある古っ都)(京都府)
スマートフォン用ウォーキングアプリを用いたウォーキング等の健康づくりの継続支援